

【2021年度事業概略】

- ① 「創造性豊かな世界市民の育成」を指向し、各種施策を検討、実施した。
スーパーグローバルハイスクールなどを通して得た経験を活かしグローバルリーダーを育成。
- ② 学事面では小中高（12年間一貫）を教育の柱とし、生徒・児童の発達段階に応じた、きめ細やかな教育（育み）を根幹に、創価大学、アメリカ創価大学との連携も強化し、創価教育の更なる充実に取り組む。また文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に対応すべく、全生徒・児童へ一人一台の情報端末を配備。加えてネットワーク環境の充実に努めた。
- ③ 全額給付型の奨学金制度を継続し、経済面でのサポートを実施。
（1）家計急変世帯に対する奨学金制度を継続。
（2）寮生・下宿生全員に昼食支援を実施等、安心できる学園生活を提供。
- ④ 安全安心対策の視点から施設設備の点検・補改修を行い、生徒・児童・園児が安心して学園生活を送れるよう整備を行った。
- ⑤ 札幌創価幼稚園新園舎の完成。
東京キャンパスにおける「校舎・グラウンド総合整備基本計画」の策定を目指し、コンストラクションマネジメント（CM）業務を専門業者に委託し検討を推進。
2022年度完成を目指し、創価高校・女子寮建設を推進。
創立60周年へ、関西キャンパスにおいては校舎等の補改修工事を計画的に実施。

以下、主な事業について報告する。

1. 諸施設の整備・改修工事等について

- | | | | |
|----------|--|----|--------------|
| ① 東西創価高校 | タブレット端末（Chromebook）購入 | 総額 | 25,999,996円 |
| | ・ 文部科学省のGIGAスクール構想における1人1台（新1年生全員分）の情報端末を購入。
これにより小学校1年生～高校3年生まで一人一台の情報端末整備が完了。 | | |
| ② 東京学園 | 空調機更新工事 | 総額 | 155,353,000円 |
| | ・ 高校・普通教室、生徒センターⅠ、中学校・普通教室、特別教室、体育館、小学校・特別教室、厨房等の経年劣化により空調機更新工事を実施。 | | |
| ③ 東京学園 | 講堂・芸術棟外壁及び屋上防水補修工事 | 総額 | 56,639,000円 |
| | ・ 2020年度に実施した屋根・外壁の触診・打診調査の結果、著しい劣化範囲が見受けられたため、外壁及び防水補修工事を実施。 | | |
| ④ 創価高校 | 第1グラウンド賃借地購入 | 総額 | 500,285,100円 |
| | ・ 授業や生徒のクラブ活動など日常的に使用している第1グラウンドの一部賃借していた土地を購入。 | | |
| ⑤ 創価高校 | 第1グラウンドスプリンクラー更新工事 | 総額 | 15,950,000円 |
| | ・ 設置より約43年経過し、経年劣化により故障したため、更新工事を実施。 | | |
| ⑥ 創価高校 | 情報ネットワーク機器整備 | 総額 | 13,999,700円 |
| | ・ GIGAスクール構想に伴い、通信回線の高速化を目指し、生徒センターⅡ、総合教育棟等、昨年整備していない場所を中心に更新工事を実施。小中については補助金を活用。 | | |
| ⑦ 創価高校 | 女子寮建設工事 | 総額 | 90,590,000円 |
| | ・ 2023年3月完成を目指し、女子寮建設に伴う開発工事を実施。 | | |

- ⑧ 創価中学校 世紀グラウンド整備工事 総額 40,997,000円
- ・ 2007年に全面張替工事を実施してから14年が経過し、表層部の劣化や亀裂が生じているため全面整備工事を実施。
- ⑨ 創価中学校 パソコン教室改修工事 総額 18,129,243円
- ・ アクティブラーニングに対応する教室として可動型の什器を導入。またホワイトボードとプロジェクターを増設し、多様な授業展開ができるよう改修工事を実施。
- ⑩ 関西創価中学高校 高校棟・芸術棟トイレ改修工事 総額 100,298,000円
- ・ 保全改修工事の4期目として改修工事を実施。
- ⑪ 関西創価中学高校 管理棟受変電設備他更新工事 総額 77,220,000円
- ・ 管理棟受変電設備は、1973年設置より48年経過しており、経年劣化のため更新工事を実施。
- ⑫ 関西創価中学高校 テニスコート隣接地購入 総額 72,231,829円
- ・ 小グラウンドとして賃借していたテニスコート隣接地をグラウンド用地として購入。
- ⑬ 関西創価中学高校 駐輪場整備工事 総額 47,817,000円
- ・ 購入した第3駐車場前の土地について、生徒用駐輪場として整備工事を実施。
- ⑭ 関西創価中学高校 職員室教員用パソコン取替 総額 14,612,400円
- ・ コロナ禍でオンライン授業などでの活用が増え、4年前に購入した既存のパソコンのスペックでは授業に支障をきたす状況になっているためリース（5年）による取替を実施。
- ⑮ 関西創価中学高校 電話交換機更新工事 総額 9,460,000円
- ・ 2009年に設置してより12年が経過し、修理部品の生産が終了していること、また耐用年数を超過していることから計画的に更新工事を実施。
- ⑯ 関西創価中学高校 特別教室プロジェクター他取替工事 総額 8,910,000円
- ・ 2012年設置より9年が経過し、修理部品の生産が終了し、今後修理対応ができなくなるため計画的に取替工事を実施。
- ⑰ 関西創価中学高校 総合グラウンド水路護岸復旧工事 総額 7,502,000円
- ・ 2021年5月20日、大雨により総合グラウンド法面で土砂崩れが起こり、隣接の河川擁壁（交野市所有）が崩れたことに伴う水路護岸復旧工事を実施。（学園と交野市で費用は折半）
- ⑱ 関西創価中学高校 食堂裏ボイラー取替工事 総額 6,534,000円
- ・ 2006年設置より15年が経過し、経年劣化も進んでいるため、取替工事を実施。
- ⑲ 関西創価高校 高校棟外壁他改修工事 総額 88,132,000円
- ・ 前回2006年実施より15年が経過し、経年劣化が目立ってきたため、外壁塗装および屋上防水工事を実施。

- ⑳ 関西創価高校 スタディサプリ契約更新 総額 6,517,800円
- ・ 1人1台のタブレット環境の活用方法として、今後も到達度の確認や宿題としての活用、受験対策など様々な場面での利用が期待できるため契約更新を実施。
- ㉑ 関西創価小学校 校舎棟外壁他改修工事 総額 59,862,000円
- ・ 前回2004年実施より17年が経過し、経年劣化が目立ってきたため、外壁塗装および屋上防水工事を実施。
- ㉒ 関西創価小学校 普通教室プロジェクター他取替工事 総額 12,386,000円
- ・ 20013年設置より8年が経過し、修理部品の生産や交換用ランプの販売が終了し、今後修理対応ができなくなるため計画的に取替工事を実施。
- ㉓ 関西創価小学校 食堂厨房食器洗浄機取替工事 総額 11,880,000円
- ・ 1997年設置より24年が経過し、経年劣化が目立ってきたため、取替工事を実施。
- ㉔ 関西創価小学校 ランチルーム屋上防水工事 総額 5,720,000円
- ・ 前回2009年実施より12年が経過し、大阪北部地震や昨今の台風、豪雨の影響などで経年劣化が早まっているため、屋上防水工事を実施。
- ㉕ 札幌創価幼稚園 新園舎建設工事（第三期） 総額 277,750,000円
- ・ 新園舎建設工事（第三期）の園庭整備、バス車庫棟建設・仮園舎解体等の工事を実施。
- ㉖ 札幌創価幼稚園 新園舎建設に伴う什器備品購入及び別途工事 総額 73,295,812円
- ・ 新園舎建設工事に伴う別途工事として、池田自然広場遊具設置、展示室、カーテン設置等の工事を実施。また保育室机、プレイハウス（おままごとコーナー）、職員室机等を購入。
- ㉗ 札幌創価幼稚園 展示室の企画設計等の業務委託 総額 9,681,724円
- ・ 新園舎に設置する展示室の展示企画、設計、造作物等の作成業務を委託。

2. 教育事業・一貫教育連携の充実について

① 創立精神深化を育む各種施策の推進

- ・ 「創立者とともに」（創立者指導学習資料2021年版）を制作し、学園生の創立精神深化に努めた。
- ・ 学園三大行事（英知・栄光・情熱の日記念行事）への取り組みについて、対面とオンラインの両方を活用し、工夫して実施。



② 小中高の12年間一貫教育を生かした教育の充実

- ・ キャリア教育や個別の進路指導により、創価大学、創価女子短期大学をはじめ、国公私立大学、海外の大学に優秀な人材を輩出
- ・ 英語授業はネイティブを含めて複数教員が担当し、チームティーティングを実施。

③ 創価大学・SUA（アメリカ創価大学）・海外創価学園との連携のもと、創価教育を推進

- ・ 創価大学、創価女子短期大学とは、連携プログラムの充実を図り、推進することができた。
- ・ ブラジル創価学園とは、探究活動オンライン発表会（8月）、オンライン交流会（1月）を行い、交流を深めた。

④ 生命尊厳の理念のもと自然環境教育・平和教育を推進

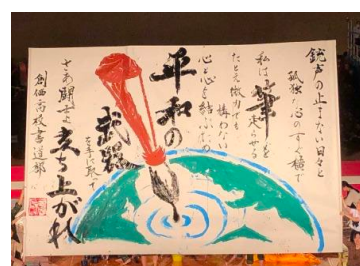
- ・ 東西高がフィールドワーク（オンラインで実施）を通して平和教育を推進。
- ・ 関西学園でNASA・宇宙教育プログラムへの参加による自然環境教育の推進。
- ・ 自然保護育成の各種保存会・委員会に継続して取り組む。

⑤ 幼稚園から小中高全校で、読書教育の一層の推進

⑥ 教職員・管理栄養士等が協力して食育の取り組みを推進

⑦ 友情を育む、クラブの取り組みを推進

- ・ 東京高・創価雄弁会、関西中高・ディベート部、東西高・箏曲部、東京高・関西中高・ダンス部、関西中高・吹奏楽部、関西小・アンジェリック・ブラスバンド、関西高・囲碁部等が全国大会に出場。



⑧ 世界市民育成の取り組み

- ・ フィールドワーク（オンラインシステムを活用）を通して国内外にて研修を実施。
- ・ 東京高はG C I S（世界市民探究）を通して、S G D sを中心に、地球規模課題の解決に向けた探究活動に取り組んだ。
- ・ 関西高は全員で取り組むG R I T（探究型総合学習プログラム）のカリキュラムの充実を図った。



⑨ 防災・安全・安心の教育環境を充実

- ・ 通学時の安全のための、「安全教育」、「マナー講座」を実施。
- ・ 防災訓練を定期的で開催し、避難経路の確認や安全点検を充実。
- ・ 携帯電話やメールのマナーについて学習し、意識を高めた。
- ・ 緊急対応等のセーフティネットを強化。

⑩ 札幌創価幼稚園 きめ細やかな園児対応

- ・ 新園舎が完成し、「遊び中心の保育」を推進。「心の根っこを育む」との教育目標から、「自己肯定感を育む保育」を目指し、一人ひとりを大切にする幼児教育に注力した。



3. 国際交流について

① 海外からの表彰

- ・ 卒業式において、卒業生代表に、インド・マカオ・中国より表彰を頂戴した。

4. 生徒・児童・園児支援について

① 奨学金の充実

- ・ 池田育英奨学制度・牧口奨学制度をはじめ、各種奨学制度を実施。また家計急変世帯への奨学制度を延長し、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

② 寮生・下宿生への支援充実

- ・ 地方から来ている寮生・下宿生の保護者の経済的負担を軽減するため、寮生・下宿生全員の昼食支援制度を継続。

<支給実績>

池田育英奨学制度	25,600,000円
鳳雛入学時奨学制度	6,540,000円
寮生・下宿生奨学制度	93,155,969円
牧口記念教育基金会奨学制度	92,400,000円
希望奨学金	4,983,910円
きょうだい同時在籍者奨学制度	17,300,000円
合計	239,979,879円

<原資内訳>

第3号基本金引当特定資産 利息	142,883,274円
就学支援基金引当特定資産 利息	39,074,605円
卒業生 寄付	18,022,000円
牧口記念教育基金会 寄付	40,000,000円
合計	239,979,879円

<奨学制度実績>

- ・ 池田育英奨学制度
 - 対 象：創立精神を堅持し、人物成績優秀もしくは諸活動での貢献顕著な者
 - 人 数：高校生 東西合計64名
 - 支給額：40万円支給
 - 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 - 支給実績：25,600,000円

- ・ 鳳雛入学時奨学制度
 - 対 象：人物成績優秀者
 - 人 数：高校生 東西合計19名
 - 支給額：東京高 36万円／関西高 33万円
 - 資 金：卒業生寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：6,540,000円

- ・ 牧口記念教育基金会奨学制度
 - 対 象：奨学金を望む者（小学生：年収400万円以下めやす）
（中学生：年収590万円以下めやす）
 - 人 数：小学生・中学生・高校生 東西合計560名
【東京】194名（34.7%）※全体比
【関西】366名（65.3%）※全体比
 - 支給額：小学生 10万円／中学生 20万円／高校生 15万円
 - 資 金：牧口記念教育基金会寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：92,400,000円

- ・ 寮生・下宿生奨学制度
 - 対 象：寮生・下宿生（中学・高校生）
 - 人 数：イ) 寮生・下宿生全員
ロ) 寮生・下宿生で収入基準を満たせば全員採用
（人数は2022年3月現在）
【東京】96名（高校：91名 中学：5名）
【関西】141名（高校：131名 中学：10名）
 - 支給額：イ) 中学給食代金・高校昼食代・食券を支給
ロ) 寄宿舎費全額免除
※奨学金の支給を希望する者（年収590万円以下めやす）
ハ) 寄宿舎費月額17,000円免除
※奨学金の支給を希望する者（年収800万円以下めやす）
 - 資 金：卒業生寄付・第3号基本金引当特定資産利息
就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：93,155,969円

- ・ きょうだい同時在籍者奨学制度
 - 対 象：受験合格者のうち創価学園（幼稚園除く）に入学する者の兄弟姉妹が、入学年度に創価学園（幼稚園除く）に在籍している場合で、奨学金を望む者
 - 人 数：小学生・中学生・高校生 東西合計173名
【東京】89名 【関西】84名
 - 支給額：10万円支給
 - 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 - 支給実績：17,300,000円
- ・ 希望奨学制度
 - 対 象：家計中心者の死亡・リストラ・廃業・疾病により失職（自己都合を除く）した場合
 - 人 数：東西合計26名
【東京】8名 【関西】18名
 - 支給額：①学費全額免除（死亡の場合は学園が設置する高校まで。他は最長12ヵ月）
②通学生 食事代、交通費（寄宿舎費相当額上限）
（期間は学費免除の期間に準じる）
③寮・下宿生 寮費、下宿代支給
（期間は学費免除の期間に準じる）
 - 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 - 支給実績：4,983,910円

5. 生徒・児童・園児募集について

① オープンキャンパス・学校説明会・入試説明会の開催

- ・ 東西学園で完全予約制のオープンキャンパス開催をはじめ、オンラインによる学校説明会等を実施し、小中学生・未就学児への激励と保護者への説明を実施。

6. 広報・地域貢献活動について

① 学園メイト加入を推進

- ・ 全国の小中学生及び受験希望支援者を対象に、「学園メイト」制度（登録無料）を2009年度より開始。登録者数は2,000名を超え、広報活動の大切な基盤となっている。学園レター（年3回）、学園グッズを学園メイト登録者全員に贈呈。

② 駅広告看板の設置

- ・ 東西、札幌の学園最寄り駅をはじめとする、近隣主要駅広告を通し、広報活動を推進。

③ 創価芸術展の開催

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本展・巡回展の現地開催を全てとりやめ、前年度同様オンラインで開催した。生徒・児童・園児が日頃の授業、クラブ活動で作成した絵画、書道、写真、陶芸等を展示。作品を通じて、地域・社会に本学園が取り組んでいる人間教育への深い理解と関心を広げている。
- ・ 総鑑賞者総数：18,091名（参考）2020年度：23,286名 2019年度：16,318名
日本以外に中国（195名）アメリカ（116名）、をはじめ、44カ国地域よりアクセス。

出展作品数	書道	絵画	立体	写真	合計
東京学園	62点	96点	15点	26点	199点
関西学園	48点	107点	-	9点	164点
札幌幼稚園	-	18点	20点	-	38点
					401点

7. 創価教育センターの活動について

① 学事面における創価一貫教育を推進

- ・ 学事推進会議を開催し、各校・園の学事推進を図った。
- ・ 教育内容の更なる正則化と向上を図る便覧改訂に向け、毎週1回定例で検討会を実施し、2022年度内の完成を目指す。
- ・ 創価大学との定例会議を開催し、連携プログラムや各種情報の共有や調整を行い、諸行事がスムーズに実施できるようにした。
- ・ DS（データサイエンス）教育推進に向けて東西高と大学との連携会議を開催。

② グローバルリーダー輩出の取り組みを推進

- ・ 東西高校を繋ぎセンターが連携基点となつての世界市民育成連絡会を実施。
- ・ 昨年度とりまとめたプロジェクト案に沿って、ブラジル創価学園との交流を開始。東西高紹介DVD送付、ブラジル創価学園主催のTOK発表会に学園生参加、また東西高主催のオンライン交流会にブラジルの学園生が参加などの交流を推進。

③ 教職員の育成と研修を推進

- ・ 校長会・事務長会で教育情報を提供した。
- ・ 副校長教頭会を開催し、研修として充実させた。
- ・ 若手教職員の研修を充実させた。（内定者、新任、勤続2年、勤続5年、勤続10年）
- ・ 教員免許更新講習の受講をサポート。
- ・ ミドル研修を開催し、教員の資質向上を図った。
- ・ 全教職員対象に、テレビ会議を活用して、研修会を開催。

④ 創価教育研究所・自然環境教育研究所の活動

- ・ 両研究所ともに、研究員（代表教員）による会議と研修会を開催し、諸研究活動の充実を図った。
- ・ 毎年、全教職員による教育現場での取り組みをまとめ、未来に残す「創価教育の実践」記録集を作成。
- ・ 創価教育研究所では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」について、各校や教科での取り組みの研究、検証を推進した。
- ・ 創価教育研究所レポートをポータルサイトにアップして学園内に公表。
- ・ 自然環境教育研究所では、創立者の対談集から自然環境教育についての学びを深め、教育実践の充実を図った。
- ・ 「自然環境教育研究所報告」を3回発刊。

⑤ 多様性を認める教育の推進

- ・ ユニバーサルデザイン教育を推進した。
- ・ 創価学園として、保護者相談室を設置（フリーダイヤルで対応）。
- ・ 個人情報の保護を図った。

⑥ 学園50年間の各種資料の収集と整理を推進

- ・ 50年間の学事資料の作成を推進した。
- ・ 創立者指導の整理を推進した。

8. アーカイブ充実

① 創立者関連資料の保全

- ・ 学園内にある、創立者の著書、著作、映像、音声等を厳重に管理（収集及び保全、修復）し、デジタル化することにより半永久的な継承体制を整備している。

② 関連資料の活用

- ・ アーカイブ資料を活用し、学園生に還元できるシステム（検索・閲覧）構築を目指し、検討を進めている。
- ・ アーカイブ資料の修復保全及び保管処理を着実に推進した。